

Toyama College		Year	2022		Course Title	Russian III
Course Information						
Course Code		0156		Course Category	General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 1	
Department		Department of Maritime Technology		Student Grade	5th	
Term		First Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		授業にて指示する				
Instructor		Yamamoto Yuki				
Course Objectives						
1)学習したロシア語表現を用いて、自分のことを説明できるようになる 2)ロシア語の文章を音読、暗唱できるようになる 3)学習したロシア語表現を用いた質問に対して、ロシア語で答えることができるようになる 4)ロシア語の授業を通じてロシアの文化や社会に親しむことができるようになる						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1		主として名詞の性別、動詞現在人称変化について、8割以上正しく答えられる。	主として名詞の性別、動詞現在人称変化について、6割以上正しく答えられる。	主として名詞の性別、動詞現在人称変化について、正答率が6割に達しない。		
評価項目2		上記文法事項を活用した口頭表現及と発表がスムーズにできる。	上記文法事項を活用した口頭表現及びその発表ができる。	上記文法事項を活用した口頭表現及びその発表が満足にできない。		
評価項目3		ペアワークやグループワークにおいて、積極的に表現を考え、発表することが良くなる。	ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができる。	ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができない。		
Assigned Department Objectives						
MCCコア科目						
Teaching Method						
Outline		【学習目標】 ロシア語初級文法・会話の学習を通じて、ロシアという国の社会や文化に親しむ。				
Style		教員単独による講義および演習 事前に行う準備学習：講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。				
Notice		(授業改善策) 学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう努める。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者については、その評価を60点とする。 (備考) 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画、評価方法及び評価項目は変更することがある 3)定期試験（中間試験及び期末試験）を70点、その他(発表、課題、小テストなど)を30点として評価する 4)家庭における自主学習用の課題を課す 5)授業外学習・事前：授業内容を予習する。 授業外学習・事後：授業内容に関する課題を解く。課題については、レポートとして評価する。				
Characteristics of Class / Division in Learning						
☒ Active Learning		☒ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	1)オリエンテーション 2)第1課	1)授業に関する説明を行う 2)あいさつ表現及びアルファベットの音と名称を覚えることができる。		
		2nd	第1課 「この人は誰ですか」	強勢とイントネーションについて理解できる。		
		3rd	第1課 「この人は誰ですか」	強勢と母音の弱化について理解できる。		
		4th	第2課 「あなたは医者ですか？」	人称代名詞、否定詞Нет及び聞き返しの抑揚を使うことができる。		
		5th	第2課 「あなたは医者ですか？」	ロシア語で職業名を言うことができる。		
		6th	第3課 「郵便局はどこですか」	名詞の性別を理解し、動詞第1人称変化を理解することができる。		
		7th	第3課 「郵便局はどこですか」	「知る、読む、～する」などの動詞を使うことができる。		
		8th	第3課 「郵便局はどこですか」	正書法を理解し、名詞を複数形にすることができる。 動詞の人称変化を理解することができる。		
	2nd Quarter	9th	中間試験	既習事項の確認を行う		
		10th	1)試験返却 2)第4課「これは誰の写真ですか」	試験を返却し、解説する。 名詞の性別と数に応じて、所有代名詞を使い分けすることができる。		
		11th	第4課「これは誰の写真ですか」	名詞の性別と数に応じて、所有代名詞を使い分けすることができる。		
		12th	第4課「これは誰の写真ですか」	名詞の性別と数に応じて、所有代名詞を使い分けすることができる。		

		13th	第 5 課「どこにお勤めですか」	場所を示す前置格変化の使い方を理解し、「表面・内部」の表現を用いて場所を説明することができる。
		14th	第 5 課	場所を示す前置格変化の使い方を理解し、「表面・内部」の表現を用いて場所を説明することができる。
		15th	期末試験	既習事項の確認を行う
		16th	成績確認	1)成績評価・確認を行う 2)夏休みの課題の確認

Evaluation Method and Weight (%)							
----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0